

屋根の飛び火試験

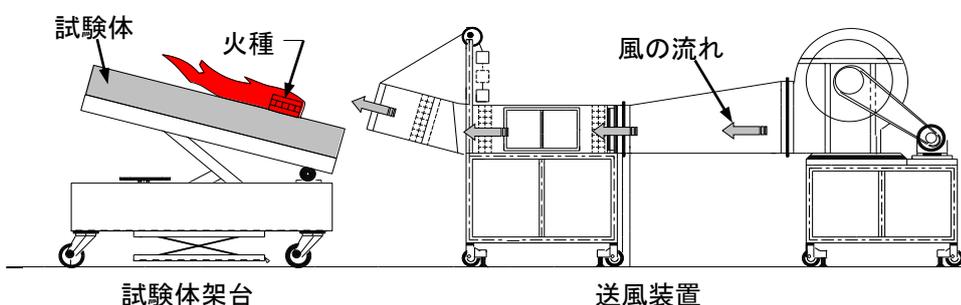
屋根の飛び火試験では屋根葺き材の火災に対する延焼防止性能を調べます。

屋根の飛び火性能とは

屋根の飛び火性能とは、屋根表面に使用される材料が周辺の火災によって発生した飛び火により炎上し、屋根裏面への延焼及び燃え抜け、輻射及び炎の接触による隣棟等への延焼を防止する性能です。一般的には、屋根が不燃材料で葺かれていたり、又は造られていれば屋根の飛び火性能があります。

屋根の飛び火試験

試験装置は、送風装置、試験体架台及び火種の着火に用いるガスバーナーにより構成され、送風装置は均一な風が送れる風洞を備え、試験体架台は屋根勾配を $0^{\circ} \sim 30^{\circ}$ の任意の範囲で設定できます。



・試験準備

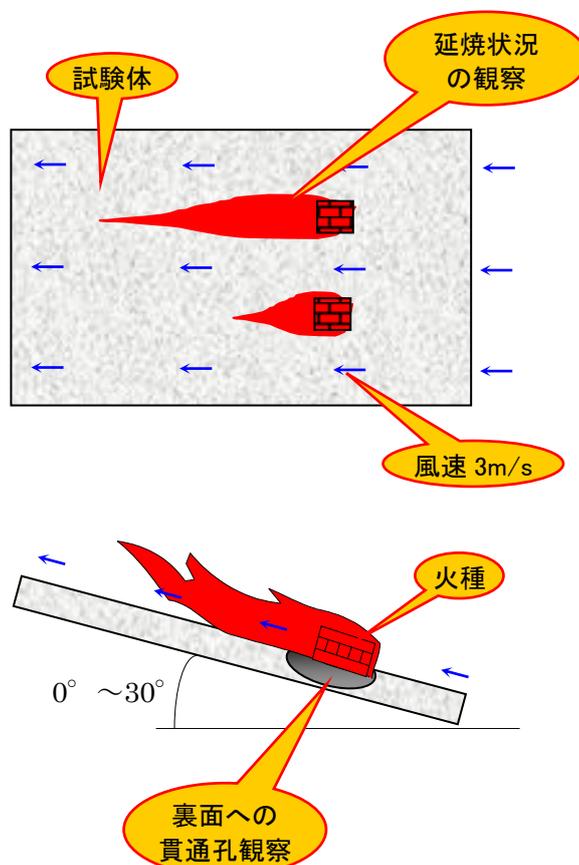
- 1) 試験体架台を任意の勾配($0^{\circ} \sim 30^{\circ}$)に設定します。
- 2) 屋根葺き材の上部で風速 3m/s の風を設定します。

・試験開始

- 1) 火種を設置します(2個の火種は時間をずらして設置)。
- 2) 火種による屋根葺き材の延焼状況及び屋根裏面への貫通孔などの観察を行います。



屋根葺き材の燃焼状況



【関連規格】

ISO 12468-1:2003 Test method for external fire exposure to roofs
国土交通省指定性能評価 当所制定「防耐火性能試験・評価業務方法書」